

その10分前

つと
事務所到着！……



ごめん伊織
先方から電話
来ちゃったから

事務所行つて
あずささんと雪歩
連れてきてくれる？

しかた
ないわね……



なに……
この匂い？

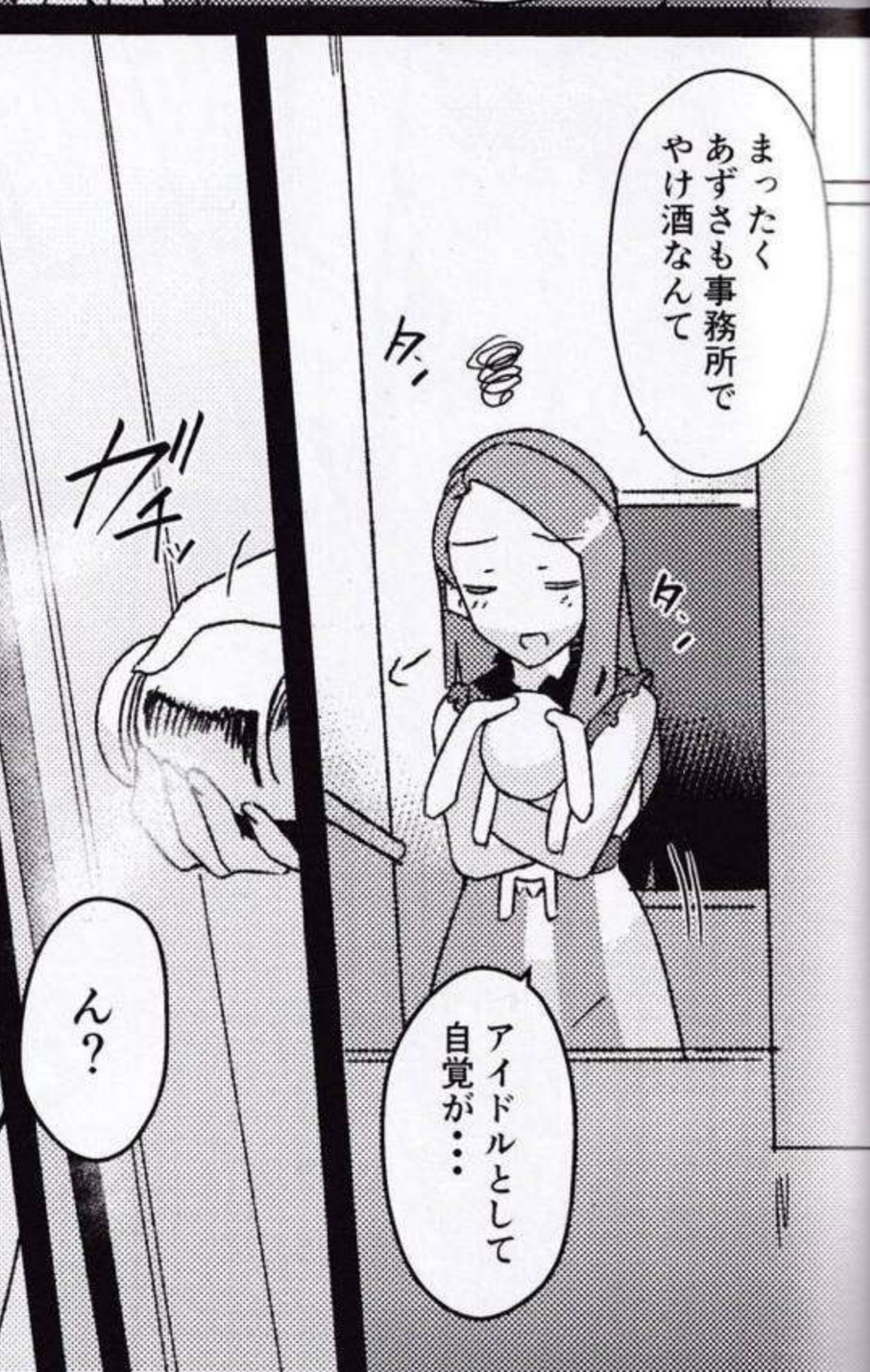
ちよつと
あずさー？



まったく
あずさも事務所
でやけ酒なんて

アイドルとして
自覚が……

ん？



前回のあらすじ

何故か(?)
雪歩が暴走してしまい

色いろあって
事務所でやけ酒を
していたあずささん

それに付き合う
ことになった
雪歩だったが

あずささんを
墮としてしまう……

そして

その瞬間を

え？

伊織に目撃されて
しまうのだった



雪・・・歩？

あずさに
なにして・・・



あれ
伊織ちゃん……？



アホな？
アホな？

もしかして

伊織ちゃんも
混ざりに来たの？

なにこれ

なんで雪歩に

ち、ちが……ん

それになに
この大ききさっ！

私の腕より
太いじゃないっ！

クワッ...



逃げないと
いけないのに……

キ
ユウ

こんなのに
されたら……

逃げないと……



なんで

なんで目が
離せないのよっ……





くああ

?

は、はあっ

どうしたの?
伊織ちゃん
飲んで
いいんだよ?

うう...

はえっ

んくっ



っは!

っは

っは!

なにこれ

飲んだ瞬間

身体が急に
熱くなってっ……!

ズク...

伊織ちゃん♪

もしかして軽く
イっちゃった？

伊織ちゃんももう
待ちきれないんだ♡

よっ♪



いや！
ちよつと！

まって！！

あんた

何やってるのか
わかってるの！

わかってるよお？

これから
伊織ちゃんとお
エッチするんでしょ？

わかってない！

私に
こんな事して

ただですむと
思っ……

まっ

そんなの
入らないから——



嘘...

どっよっ?



んっ!



ん...♡

入った...けど

伊織ちゃんのなか
すぐくきつくて
奥まで
入らない...

んっ

あが

もう
少しで

がっ

私の中を
こじ開けながら

雪歩のが…

届く…

上がくるっ…!!



雪歩
まさか

嘘よね？

んっ
っ

そこは
入れるところじゃな！

い！

ア

ア
ア



それじゃあ
動かすよお♡

※

子宮まで
届いてるっ

やっと
根元まで入った♡





ああっ♡

だめっ
動かないでっ

ひぎっ♡

おっ♡

うっ♡

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ

ズッ
ズッ
ズッ

雪歩っ♡

子宮ごと
つぶされてえ♡

イグッ♡

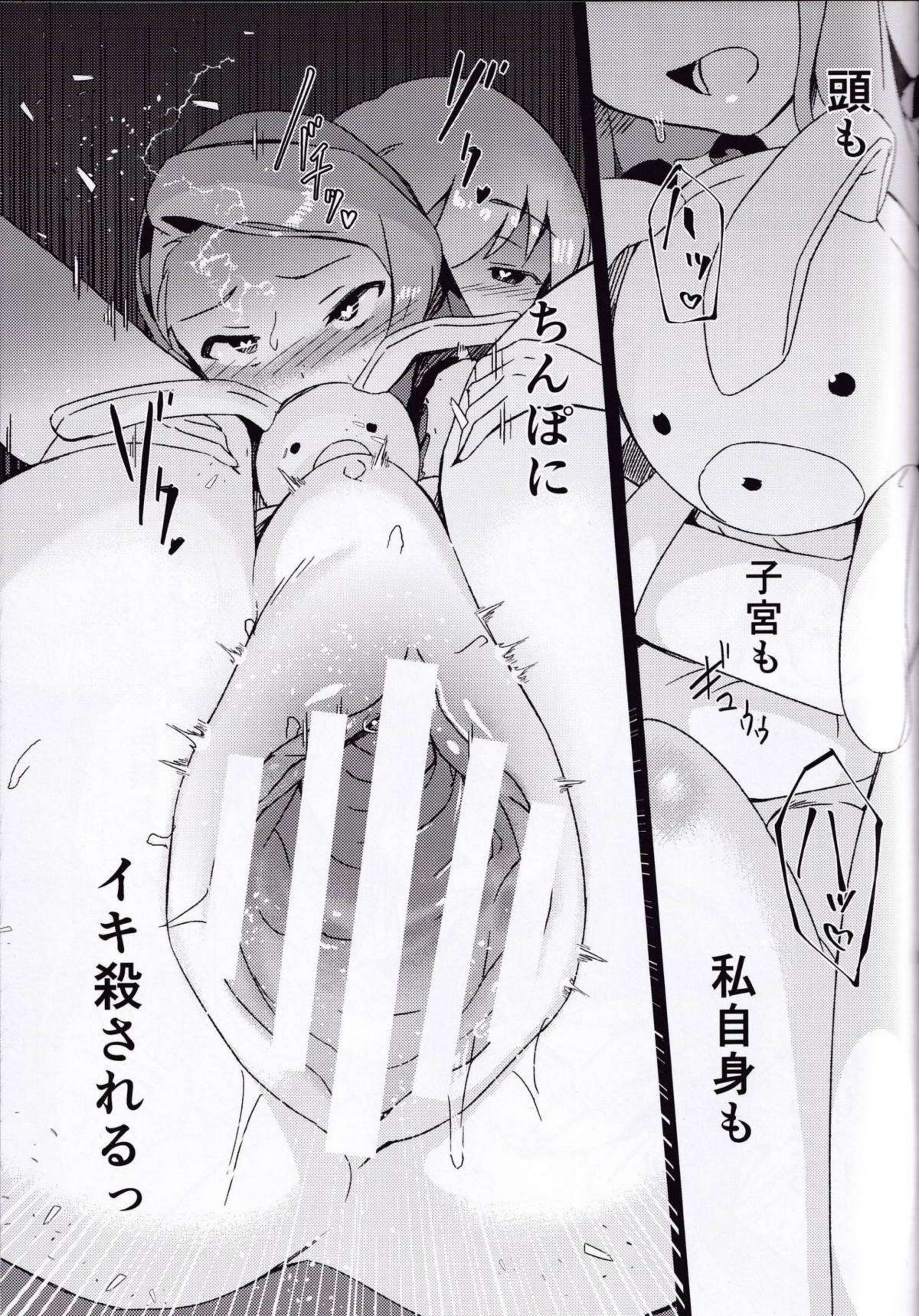
どめで♡

どめでえ♡

イクの♡

止まらない
からあっ♡





頭も

ちんぽに

子宮も

私自身も

イキ殺されるっ

はい
分かりました

それでは
よろしくお願ひします

やっと
おわったわ…

ねえねえ
りっちゃん

いおりん達
どこいったの

あらっ?
戻ってない?

伊織が
あずささん
呼びに行つて…

そういえば
あずさねえちゃん

ゆきぴよんと
一緒に居るんじゃないか?

ああ!

伊織ちゃん

そろそろ
私もっ!



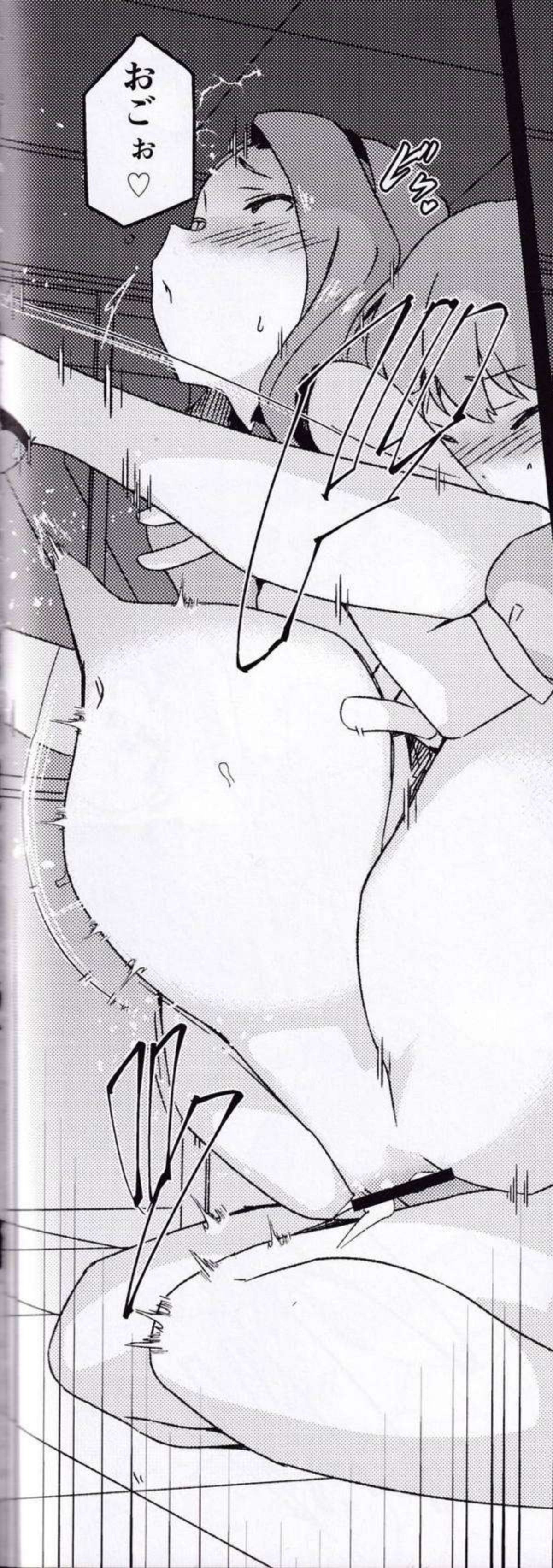
あずささんっ！

伊織！

♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡

わあ

わあ



おっお♡

おっお



あっ♡

おっ♡



ああ...

遅かったか

グワッ

グワッ

グワッ

グワッ

ヒッ

ヒッ

グワッ

グワッ

グワッ

グワッ

グワッ

グワッ

グワッ

翌日……

本当に

すいません
でしたああ！

このけじめは
穴掘っていえっ
指をつめ……

雪歩ちゃんは
わるくないわ

元はといえば私が
巻き込んだのだから

そうね
私も許すわ

じいん

お二人とも……

そのかわり……

責任

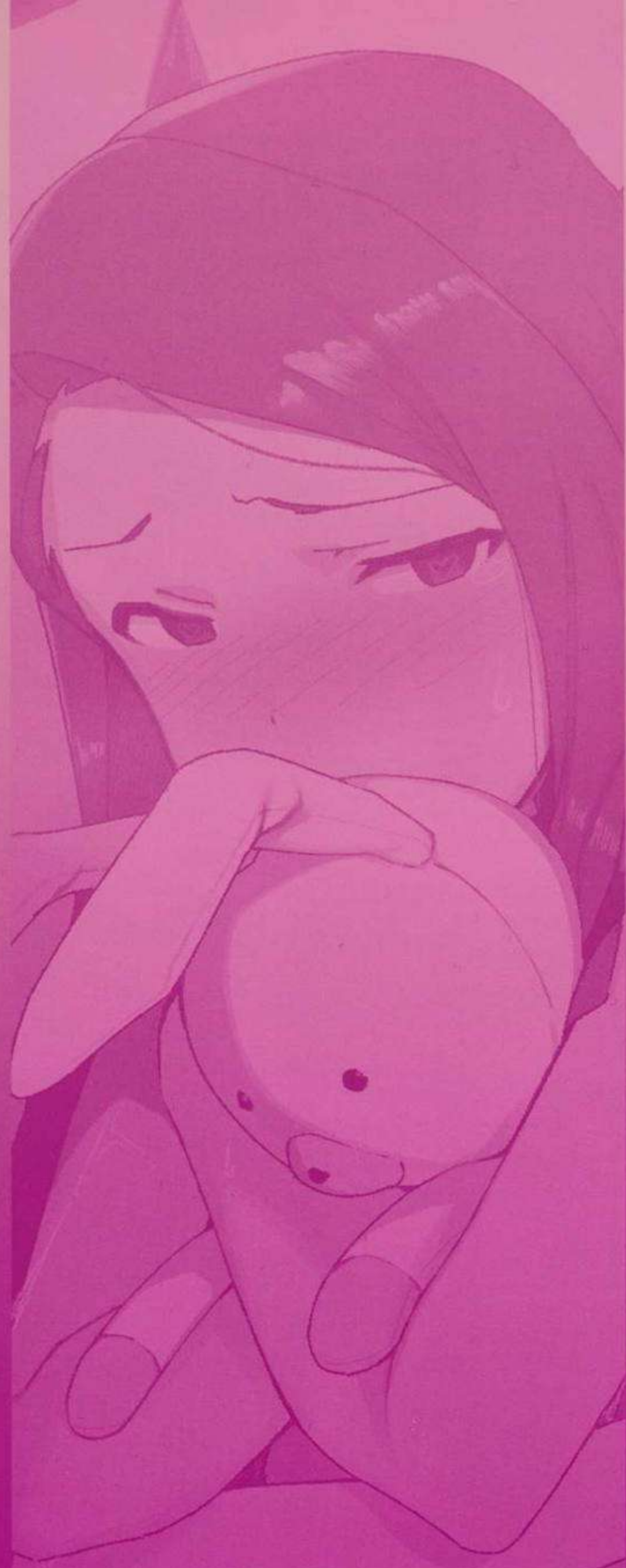
とってね♡

この後メチャクチャ
搾られた

あとがき

お手に取っていただきありがとうございます！
あずさ編からつづく伊織編もなんとか完成しました。
これで竜宮小町編は終わりました…次はだれなのか…
そして俺は生きているのか…ご期待ください…

印刷所：ねこのしっぽ
発行日：2019/12/30
作者：モモの水道水



水蜜桃工房

毛 毛 の 水 道 水

097

この度はお手にとっていただき
ありがとうございます!!
来年もよろしくお願いします!!

モモの水道水

